

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。 ※内は、ロット No. 表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲**注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

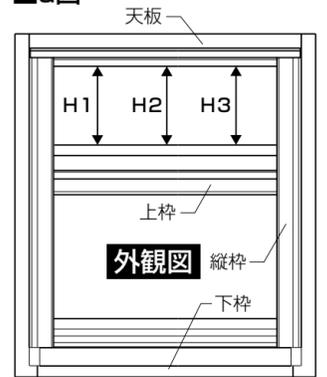
▲ **注意**

- 思わぬケガをする場合がありますので、下記事項をお守りください。
  - ・本製品は複層ガラス使用の場合、組立て後の製品重量は最大で約 80kg になります。施工は対応する人数で行ってください。
- 障子脱落のおそれがあるため、下記事項をお守りください。
  - ・必ず 45×100 mm以上の窓台(敷居)・30 mm厚以上の間柱(ピッチ 500 mm以下)で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂下り、障子が落下するおそれがあります。
  - ・必ず指定のスクリーュー釘・木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。
  - ・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
  - ・躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。
  - ・障子の建込み・建付け調整後、必ず外止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。
- シャッター本体の脱落や変形による作動不良・雨漏りの原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認し、柱などの躯体に取付けてください。
  - ・シャッターを連窓にする場合、吊束を取付けてください。吊束は最大 60kg の荷量がかかりますので、□ 90mm 以上の木材を使用してください。
- 漏水の原因となるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。(本文中の図参照)
  - ・浴室にご使用の場合は必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。

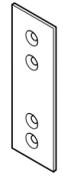
■取付け上のお願

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 本製品のうち、サッシ枠の組立ておよび取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。サッシの組立て・取付けは、シャッター(電動)の施工範囲には含まれません。
- シャッター取付け部の開口寸法は、正確に出してください。(H寸法)  
寸法が正確に出ないとシャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。(a図参照)
- サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上下のソリがないようにしてください。取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
- モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないよう指導してください。
- モルタルは離剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。
- シャッター部分の組立て・取付けについては本体同梱の取付け説明書をご覧ください。
- 施工前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。アングル波打ちの原因となるおそれがあります。

■a図

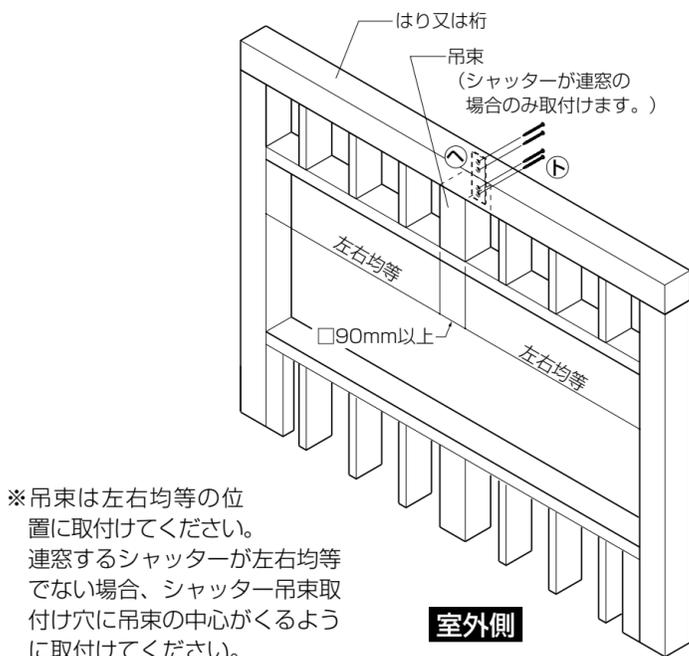


■ねじ一覧表

①  スクリーュー釘φ2.1×32	②  皿木ねじφ3.5×38	③  皿木ねじφ3.1×20 (アングル部)	④  丸木ねじφ3.5×25 (テラスおよびアングル付き窓 (H1400以上又はW2000以上)のみ)	⑤  皿タッピンねじφ4×35	⑥  吊束補強板 (連窓のみ)	⑦  平頭釘φ3×50 (連窓のみ)
--	---	--	--	--	---	--

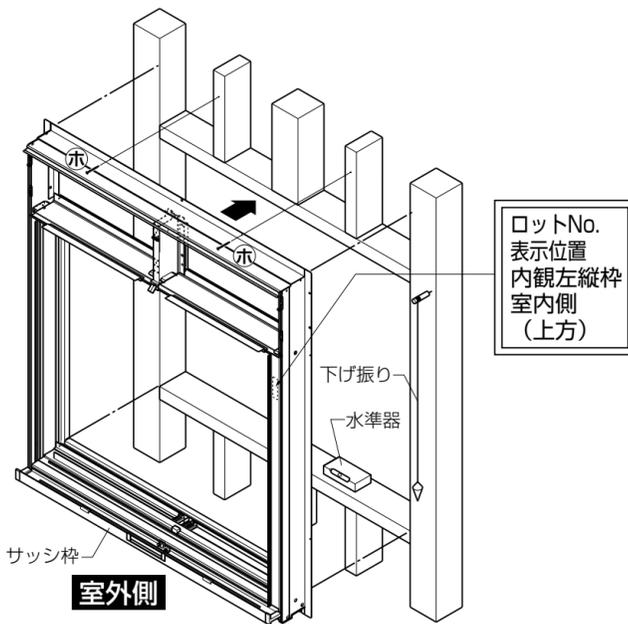
■取付け順序

1 吊束の取付け(連窓時)



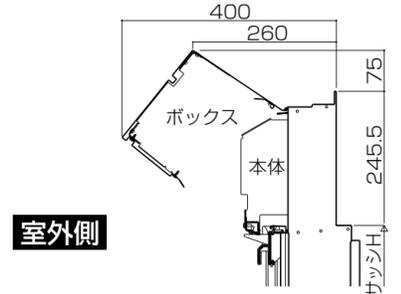
2 枠の固定

①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

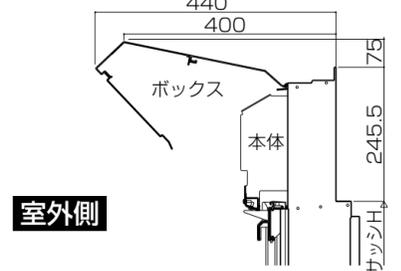


※シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。

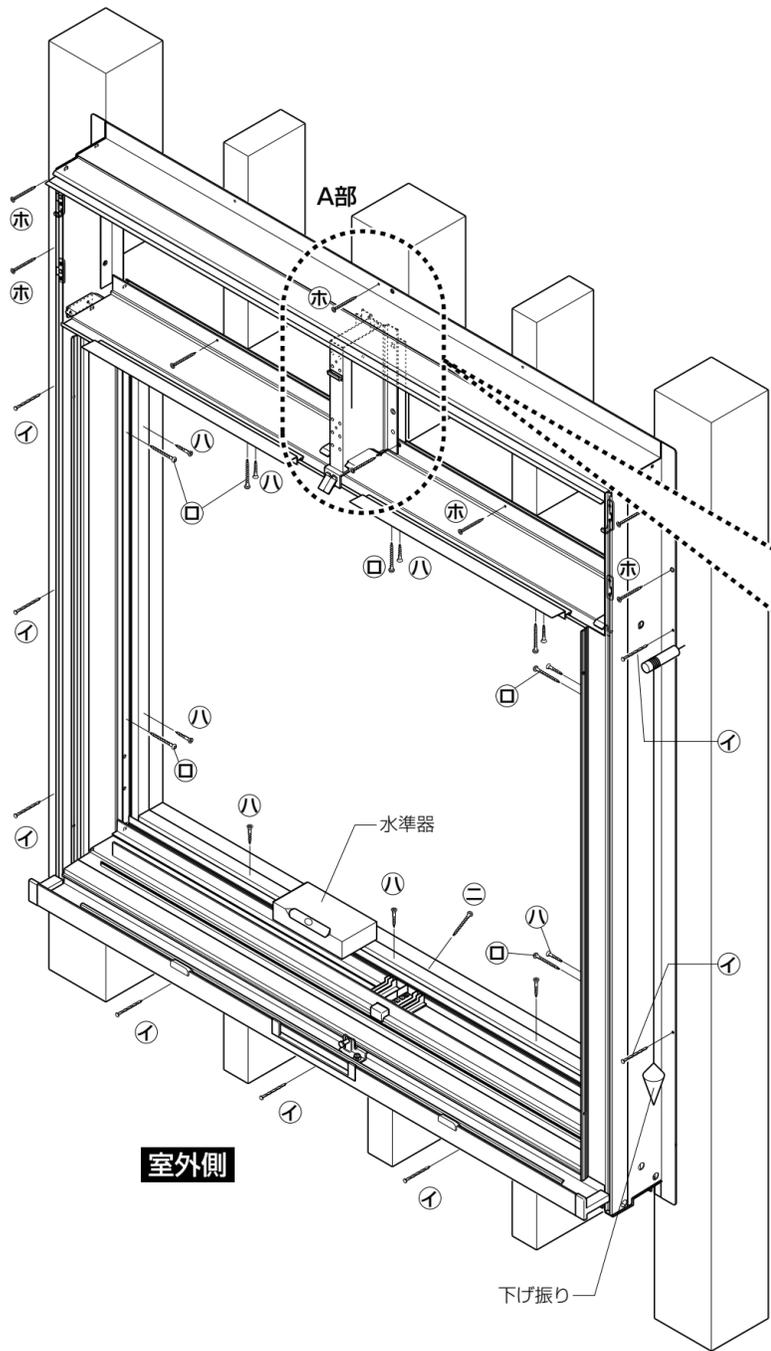
■D型ボックス



■H型ボックス

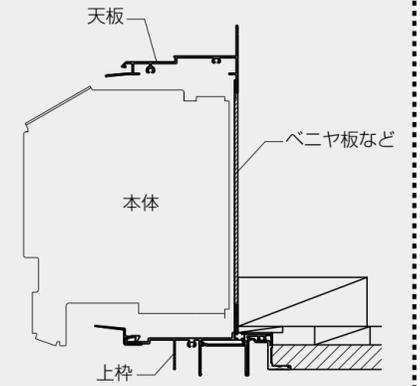


②下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。



**▲ 注意**

- シャッター枠取付け後、ボックス部躯体側は、漏水しないように必ず本体同梱の背板を取付けてください。
- 本体取付けまで防水が必要な場合は、防水シートを必ず張ってください。
- 防水シートのかわりにベニヤ板などを使用する場合は、右図の要領で取付けてください。

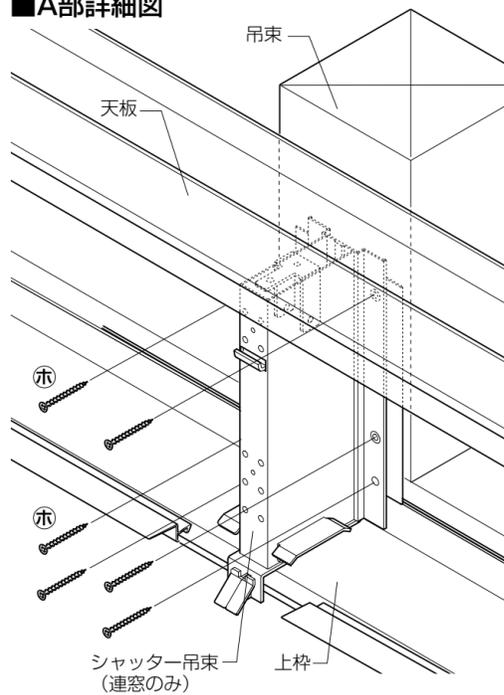


**■シャッター吊束部取付け詳細(連窓のみ)**

**▲ 注意**

- 取付けねじはすべて取付けてください。本体の脱落や変形による作動不良の原因になります。

**■A部詳細図**



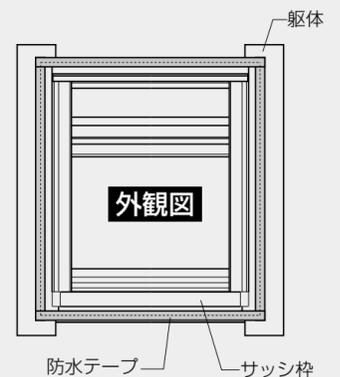
**▲ 注意**

- 躯体取付けねじは必ず締付けてください。下枠が外側にこぼり、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

※躯体と下枠の間にすき間が発生した場合は、必ずかき物などで調整してください。  
 ※躯体取付けねじは障子建込み前に固定してください。

**▲ 注意**

- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。



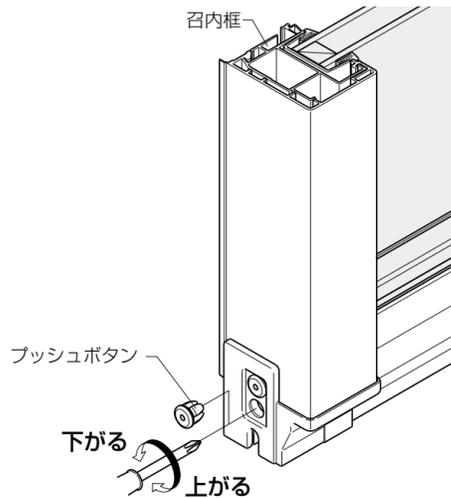
**3 障子の建込み**

**■建付け調整**

**■戸車調整**

- プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態にしています。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

お願い  
 ※召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。)

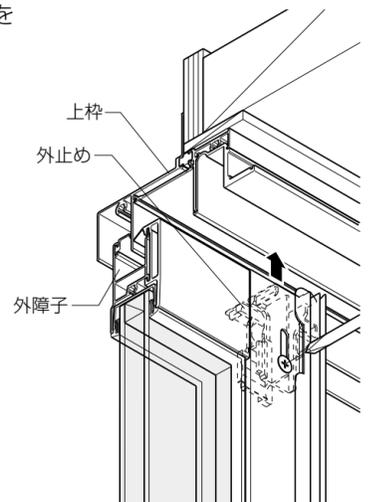


**■外止め調整**

- プラスドライバーでねじを緩めて外止めを上げます。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

**▲ 注意**

- 必ず外止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。



**■クレセント調整**

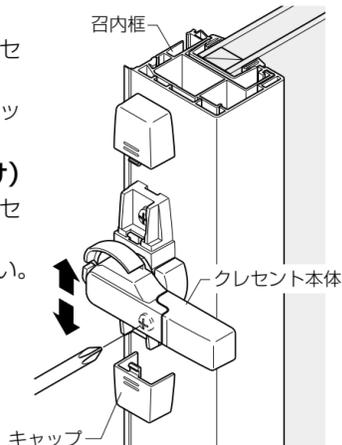
**【上下方向の調整】(クレセント本体)**

- ①キャップを外します。
  - ②プラスドライバーでねじを緩めてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

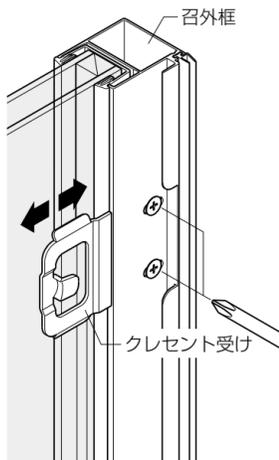
**【左右方向の調整】(クレセント受け)**

- プラスドライバーでねじを緩めてクレセント受けを左右に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

**【上下方向の調整】**



**【左右方向の調整】**



※図はシンフォニーです。デュオPG・SGはクレセント受けの形状が異なります。

**■HKKの場合のロック位置の調整と確認**

- シャッター本体を取付ける前に、あらかじめロック位置を端に移動してください。
- 取付け後にロック位置を移動する場合は、障子を外して行う必要があります。
- ロック位置の調整方法は、シャッター本体に同梱の取付け説明書に記載されています。

